

# 平成27年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立養徳小学校 )

## 1 平成27年度 重点評価項目

- 確かな学力の育成(おもいや考え方を表現する力の育成)
- 豊かな心の育成(道徳教育の充実, 規範意識の育成)
- 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立, 命を守りきる学校の創造)

## 2 1回目評価

<p>・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</p>					<p>・アンケート実施結果, その他指標の結果について整理</p>	<p>自己評価</p> <table border="1"> <tr> <td>評価日</td><td>平成27年10月9日</td></tr> <tr> <td>評価者・組織</td><td>学校評価委員会</td></tr> <tr> <td>分析(成果と課題)</td><td>自己評価に対する改善策</td></tr> </table>	評価日	平成27年10月9日	評価者・組織	学校評価委員会	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	<p>学校関係者評価</p> <table border="1"> <tr> <td>評価日</td><td>平成27年10月23日</td></tr> <tr> <td>評価者(いずれかに○)</td><td>学校運営協議会 学校評議員</td></tr> <tr> <td>学校関係者評価による意見</td><td>学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策</td></tr> </table>		評価日	平成27年10月23日	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
評価日	平成27年10月9日																			
評価者・組織	学校評価委員会																			
分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策																			
評価日	平成27年10月23日																			
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員																			
学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策																			
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果																
1 確かな学力	おもいや考え方を表現する力	掲示板での言葉の広場や各教科での言語活動のさらなる充実	話す・聞く話型の統一。 ・進んで発表している	「そう思う」児童・保護者の割合は73%(前年比+5.5ポイント)	⇒	1単位時間の授業のめあてをはっきりとさせた授業・ノート指導の工夫が成果となって表れ, 8割以上の保護者・児童が「授業がわかる・楽しい」と回答があった。 「朝読書や読み聞かせを通して読書の楽しさを味わっている。」の実現度のポイントが大きく上がった。	⇒	・全国学力・学習調査を見ると全国平均より2~3ポイント上回った。ノート指導が成果として表れた。しかし算数Aのように基礎基本の定着においては家庭学習の習慣化が大きく影響していると思われる。	⇒											
	読書活動の充実	朝読書・おはよう紙芝居読み聞かせボランティア 読書100冊の定着	・朝読書や読み聞かせを通して読書の楽しさを味わっている。	「できている」児童・保護者の割合は87%(前年比+5.1ポイント)																
	家庭学習の習慣化	学校便り等による啓発	・時間を決めて勉強をしている。	「そう思う」児童・保護者の割合は68%(前年比+3ポイント)																
2 豊かな心	人権教育の充実	「ともだちの日」の取組	「ともだちの日」の振り返り。 ・仲間を大切にする気持ちが育っている。	「そう思う」児童・保護者の割合は95%(前年比+4ポイント)	⇒	「約束・きまり・ルール」の項目において、児童・保護者・教職員共に昨年度よりポイントが上がった。 ソーシャルスキルトレーニングを継続的に行ってきた結果、情操を育むことにつながっている。	⇒	・子ども社会の人間形成に向け、縦割り活動や小中連携などを大切にした取組が必要である。	⇒											
	規範意識の育成	学校のきまりの確認・徹底	・学校や学級のきまりを守っている。	「できている」児童・保護者の割合は87%(前年比+5.9ポイント)																
	豊かな心の育成	ソーシャルスキルトレーニングの活用	・友達や家族が悲しくなるようなひどい言葉遣いをしないように気をつけている。	「そう思う」児童・保護者の割合は87%(前年比+2ポイント)																
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ 生活点検表	・早寝・早起きをしている。 ・朝ごはんを毎朝食べている。	「そう思う」児童の割合は97%(前年比同等ポイント)	⇒	教職員の自己評価で基本的な生活習慣・体力作りにおいて実現度は下がってきている傾向にある。「知・徳・体」のバランスを考えて育むことが課題である。	⇒	・お手伝いについては、家庭生活の変化が影響している。社会の中の一員でもある。高学年になつても地域行事に参加する子どもになつてほしい	⇒											
	体力向上	全校マラソンの取組 部活動の推奨	・児童の外遊び・部活動を推進すること。	「できている」教職員の割合は80%(前年比同等ポイント)																
4 独自の取組	安全教育・安全管理	セーフスクール指定校	・計画的な安全教育を行い、児童自ら考え判断して安全に行動できる力を育てる。(教職員)	「できている」教職員の割合は95%(前年比同等ポイント)	⇒	セーフスクール推進事業の指定を受けて3年目、緊急地震速報装置を使っての避難訓練も定着し、安全を意識する児童が増えた。小中連携として中学校からの出前授業、ふれあいコンサートなど実施してきた。	⇒	教職員の実地安全研修・避難訓練も危機感を持って行い、研修の成果を安全教育に反映させている。今後は全市に向け発信していく。	⇒											
	小中一貫教育の推進	3校合同研修会の実施	・小中一貫教育を推進する。(教職員)	「できている」教職員の割合は60%(前年比+10ポイント)																
	情報発信の充実	ホームページの更新	・学校ホームページが充実する。(教職員)	「できている」教職員の割合は85%(前年比+10ポイント)																